

池田泉州ホールディングス
2017.3 ミニディスクロージャー誌

innovation

P.7

貸出は収益ビジネスの入口

P.9

世代を繋ぐビジネスの深化

P.1

Top Message

“未来をつくる 未来へつなぐ” 取組み

P.11 業績ハイライト・会社概要

P.13 株主の皆さまへ

経営理念

『幅広いご縁』と『進取の精神』を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、地域の皆様に『愛される』金融グループを目指します。

経営方針

- 1 人と人とのふれあいを大切に、誠実で親しみやすく、お客様から最も『信頼される』金融グループを創ります。
- 2 情報収集と時代の先取りに励み、先進的で高品質なサービスの提供によって、地域での存在感が最も高い金融グループを創ります。
- 3 健全な財務体質、高い収益力、経営効率の優位性を持つとともに、透明性の高い経営を行い、株主の信頼に応えます。
- 4 産・学・官のネットワークを活用し、様々なマッチングを通して、『地域との共生』を進めます。
- 5 法令やルールを厳守し、環境に配慮した企業活動を行うことによって、社会からの信頼向上に努めます。
- 6 グループ行員に、自由闊達に能力を発揮した能力向上を図れる職場を提供するとともに、よき市民としての成長を支援していきます。

池田泉州ホールディングス 取締役社長
池田泉州銀行 取締役頭取

藤田 博久

池田泉州ホールディングスは、『地域との共存共栄』を目指して、地域の皆さまとともに、“未来をつくる 未来へつなぐ”取組みを全力で進めてまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

はじめに ～今期の業績を振り返って

この1年を振り返ると、日本銀行のマイナス金利政策に始まり、イギリスのEU離脱、米国大統領選、最近の北朝鮮情勢等、激動の1年でした。とりわけマイナス金利政策と米国大統領選に端を発した相場急変は、当社の業績にも少なからず影響を与える結果となりました。

こうした内外金融市場の不確実性増大とマイナス金利政策長期化に対応するため、私どもは、平成28年度と平成29年度を財務基盤に与えるリスクを一掃する期間と位置づけ、前倒しで株式保有リスクの圧縮、繰延税金資産の取崩し、トランプショック(米金利上昇)への対応を行い、将来の安定配当や優先株償還の確実性を高め

ていくこととしました。

この結果、平成28年度の連結当期純利益は122億円と計画未達になりましたが、一方で私どもの事業のベースとなる地元の中小企業貸出や個人総預り資産は、合併以降に打ち出してきた様々な施策が実を結び大きく増加、将来の銀行収益のベースとなる業容は着実に拡大しています。

>業績の詳細については、
本誌11ページをご覧ください。

第3次中期経営計画の進捗

私どもは、昨年春にスタートさせた第3次中期経営計画の戦略テーマとして「変えること」と「変えないこと」を明確にし、これらを両輪とした取組みを進めています。

変えること

『7つの構造イノベーション』
を遂行

地元顧客基盤を拡充
(第2次中期経営計画での
戦略テーマを加速)

収益構造を
抜本的に変革

変えないこと

地域との『共存共栄』
～地域第一主義

“地域”創生への取組み
『まち・ひと・しごと創生』

地元自治体・大学との
ネットワーク構築・活用

変えること

「変えること」として、「貸出金」「預金」「有価証券」「非金利収益」「顧客」「人員」「経費」の7つの分野での構造イノベーションを断行し、収益構造を大きく変革させます。

『7つの構造イノベーション』は、まだ途上ですが、簡単に進捗を説明いたします。一例ですが、「貸出金」「顧客」の分野は、本店を中心とした『新・マザーエリア』に経営資源を集中的に投下することで、年間3,383社の新規融資先が生まれ、地元の中小企業貸出の残高は1兆3,500億円、年間888億円(+7%)増と、飛躍的に伸びています。

私どもは、『貸出は収益ビジネスの入口』というビジネスモデルを掲げています。お客さまにご紹介いただいた新たな事業者さまへのご融資、それを「入口」と位置づけ、その事業者さまに地元の地銀ならではの優位性を生かし本支店一体となった集中的な提案を行うことで、取引を増やし、その結果、融資のみならず、オーナーさまや従業員の方々との取引等、総合的な取引の「幅」と「額」の両方を成長させていきます。

>『貸出は収益ビジネスの入口』については、
本誌7-8ページをご覧ください。

発展し続けるマーケット

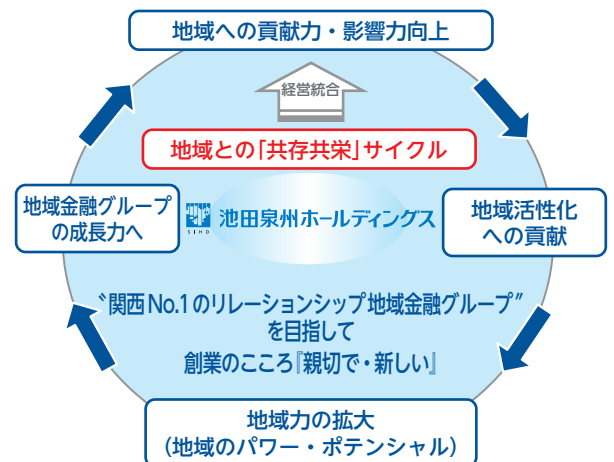
この中小企業貸出の飛躍的な増加を可能としているのは、私どもの営業エリアです。このエリアの懐は極めて深く、私どものシェアはまだまだ低い状況で、拡大の余地は十分にあります。また、皆さまもご存じのとおり、このエリアでは、数多くの大型プロジェクトが進ん

でいます。合併以降、私どもはこのような大型プロジェクトにも、地元地銀として様々な形で関与させていただいています。このビジネスチャンスをしっかり掴むことで、地域でのプレゼンスを高めるとともに、地域の皆さまとともに地域の活性化に繋がっていきたいと考えております。

変えないこと

私どもは「変えないこと」として、『地域との共存共栄』を掲げております。

■『変えないこと』地域との共存共栄～ 地域第一主義



地域が成長して初めて当社グループも成長できるという認識の下、以前から『地域活性化』や『地域創生』に注力してきましたが、今後も変わらぬ取組みとして、地域の皆さまのお役に立てるような取組みを進めてまいります。

■ マーケットでの大型プロジェクトに積極的に関与



いま、日本では人口減少・高齢化が急速に進んでいます。
地域の活性化は地域金融機関に課せられた使命であり、私どもは、地元自治体と連携し地域活性化に資する様々な取組みを進めるとともに、地域の皆さまの資産承継や事業承継といった『世代を繋ぐビジネス』にも注力しております。地域の皆さまの多様なニーズに幅広く対応すべく、昨年6月にフィナンシャルアドバイザー部を拡大し、体制、商品・サービス、施策を大きく拡充しました。
この結果、遺言信託やM&A案件は大きく増加、今後もますます力をいれてまいります。

>『世代を繋ぐビジネス』については、
本誌9-10ページをご覧ください。

第3次中期経営計画の目指すべき経営指標として、下記にお示しの指標を掲げております。まだ十分でない項目もありますが、これらを着実に進めることで、中小企業と個人を収益基盤とし、金利以外にも確固たる収益源を持つ、高収益かつROEの高い銀行グループを目指していきます。

■ 目指すべき経営指標

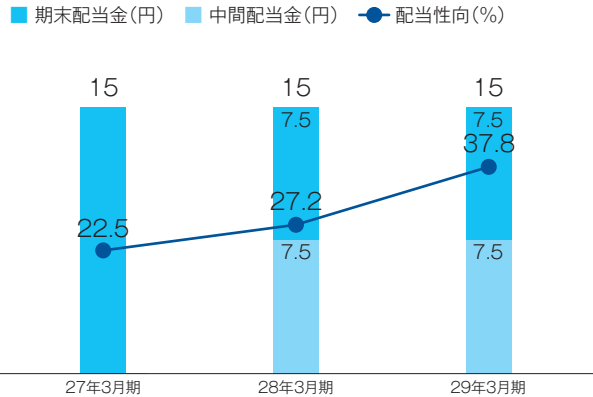
経営指標	2016年度 (H28年度) 【実績】	2018年度 (H30年度) 【第3次中期経営計画】
持株会社（連結）		
当期純利益	122億円	200億円以上
株主資本ROE	5.4%	8%以上
グループ個人総預り資産残高	4.58兆円	5兆円以上
銀行（単体）		
中小企業貸出残高	1.35兆円	20%以上増加 ▶1.5兆円以上
非金利収益比率	10.6%	20%

株主の皆さまへ

私どもは、第3次中期経営計画の『7つの構造イノベーション』を着実に実行することで収益力を強化し、15円の「安定配当」に加え、いち早く「業績連動型の株主還元」を実施できるよう一層努力するとともに、『株主の皆さまとの対話』の機会を積極的に設け、皆さまのご意見を経営に反映させてまいりたいと考えています。

>『株主の皆さまとの対話』については、
本誌13-14ページをご覧ください。

■ 配当情報



当社グループは、地域の皆さまとのご縁とリレーションを大切に、自らイノベーションを起こしながら、これからも“未来をつくる 未来へつなぐ”取組みを全力で進めてまいりますので、これからも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

TOPICS “未来をつくる 未来へつなぐ” 取組み

預り資産関連業務へのタブレット端末の導入

いち早く、預り資産関連業務のペーパーレス化を実現！

投資信託 平成28年10月～稼働

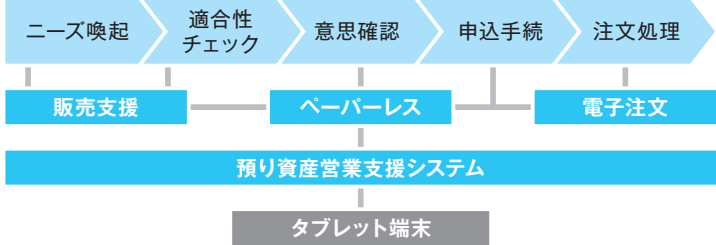
- 申込書等の電子化
- 電子サイン（印鑑レス）の実現
- TV電話を通じた管理者による取引確認

保険 平成29年5月～稼働

- 申込書等の電子化
- 電子サイン（印鑑レス*）の実現
- 保険会社とタブレット端末を直結

※一部帳票を除く

印鑑レス・
ペーパーレスを実現
(お客さまにご記入いただく書類も大きく削減)
→手続きにかかる時間が半減



今後、あらゆる業務で
タブレットの活用を進めます！



事務の約50%
でタブレットを
活用し効率化

「知財」＆「標準化」サポート

中小企業が保有する新しい技術や優れた製品の権利化や普及をサポート！

「知財」サポート

- 相談
- 弁理士紹介
- ビジネスマッチング

「標準化」セミナー
開催

「標準化」決定

全国7件中3件が
池田泉州銀行の
サポート

経済産業省の「ものづくり補助金」
採択数における池田泉州銀行の
サポート件数

72件 全国地銀中 2位

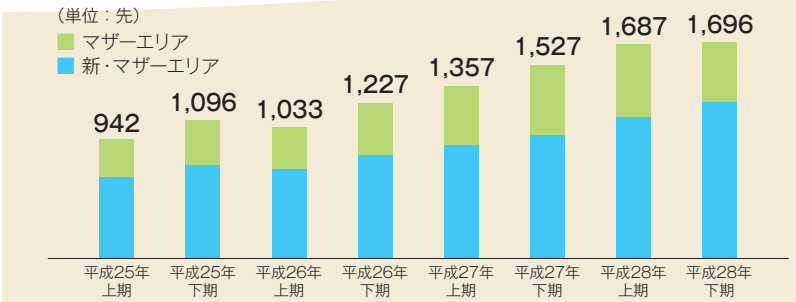
貸出は収益ビジネスの入口

当社グループでは、『貸出は収益ビジネスの入口』と位置づけ、融資先における様々な課題解決のお手伝い、本支店一体となった複合的なご提案をすることで、融資以外の総合的な取引の拡大を目指しております。

1st Step 新規取引先の獲得（大半が既存先からのご紹介）

合併時に本店を構えた大阪市をはじめとする『新・マザーエリア』を中心に新規融資先の獲得は順調に増加。
安定的に半期1,500社以上の新規融資先を獲得できる体制に。

■ 新規融資先の獲得状況



法人取引のエリア別シェア

	平成24年度	平成28年度	平成30年度
マザーエリア（北）	25%	25%	26%
新・マザーエリア（中央）（攻めるエリア）	8%	9%	12%
マザーエリア（南）	40%	41%	41%
全エリア	12%	13%	15%

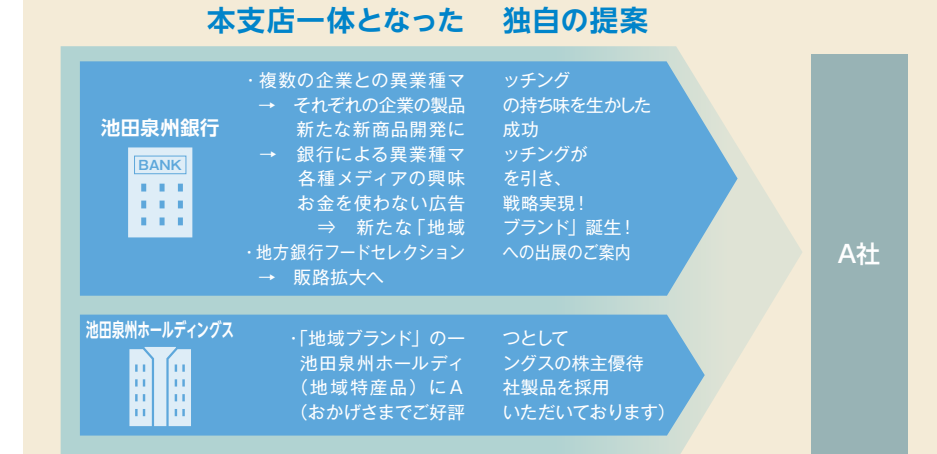
2nd Step 地元地銀の利を生かし新規融資先に集中的な複合提案

幅広いお客さまのニーズにお応えする最も適したソリューションを組み合わせるべく、ニーズを一元管理し、集中的な複合提案。

- 会える機会の増加
- ニーズの掘り起し
- 商品ラインナップ
- 本支店一体となった独自の提案、ソリューションの提供

CASE STUDY 食品製造販売 A社

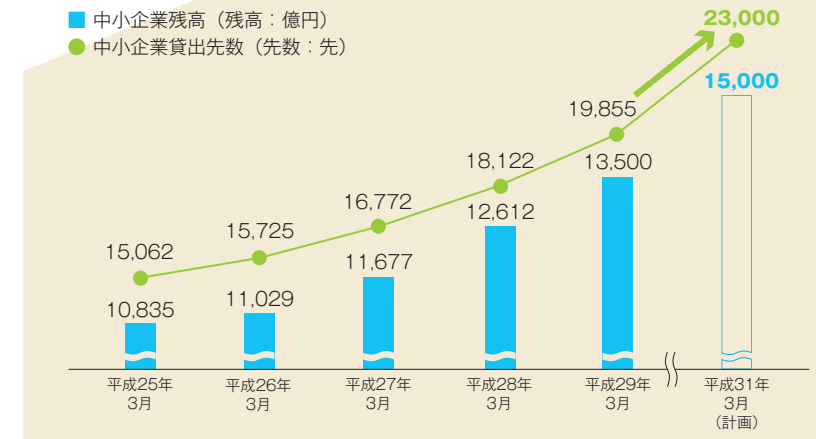
製造業を営むA社は、売り上げ増加の起爆および販路拡大のニーズがあった。



3rd Step 取引の「幅」を拡げ、取引の「額」を拡大

企業のライフステージに応じて、様々な提案を行なうことで、お客さまとの取引の「幅」、「額」をともに拡大。

■ 中小企業向け貸出金の残高、中小企業貸出金の先数



販路拡大に伴い、A社に増加運転資金・工場拡大等の設備投資のニーズが新たに発生。

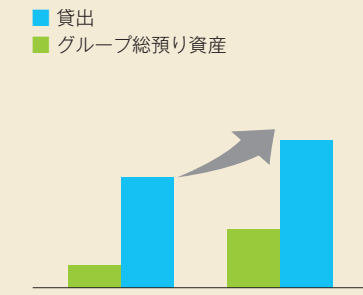
A社へのご提案・お取引

- ・グループ会社取引のご提案（リース・シンクタンク他）
- ・設備資金のご提案

【上記以外にも】

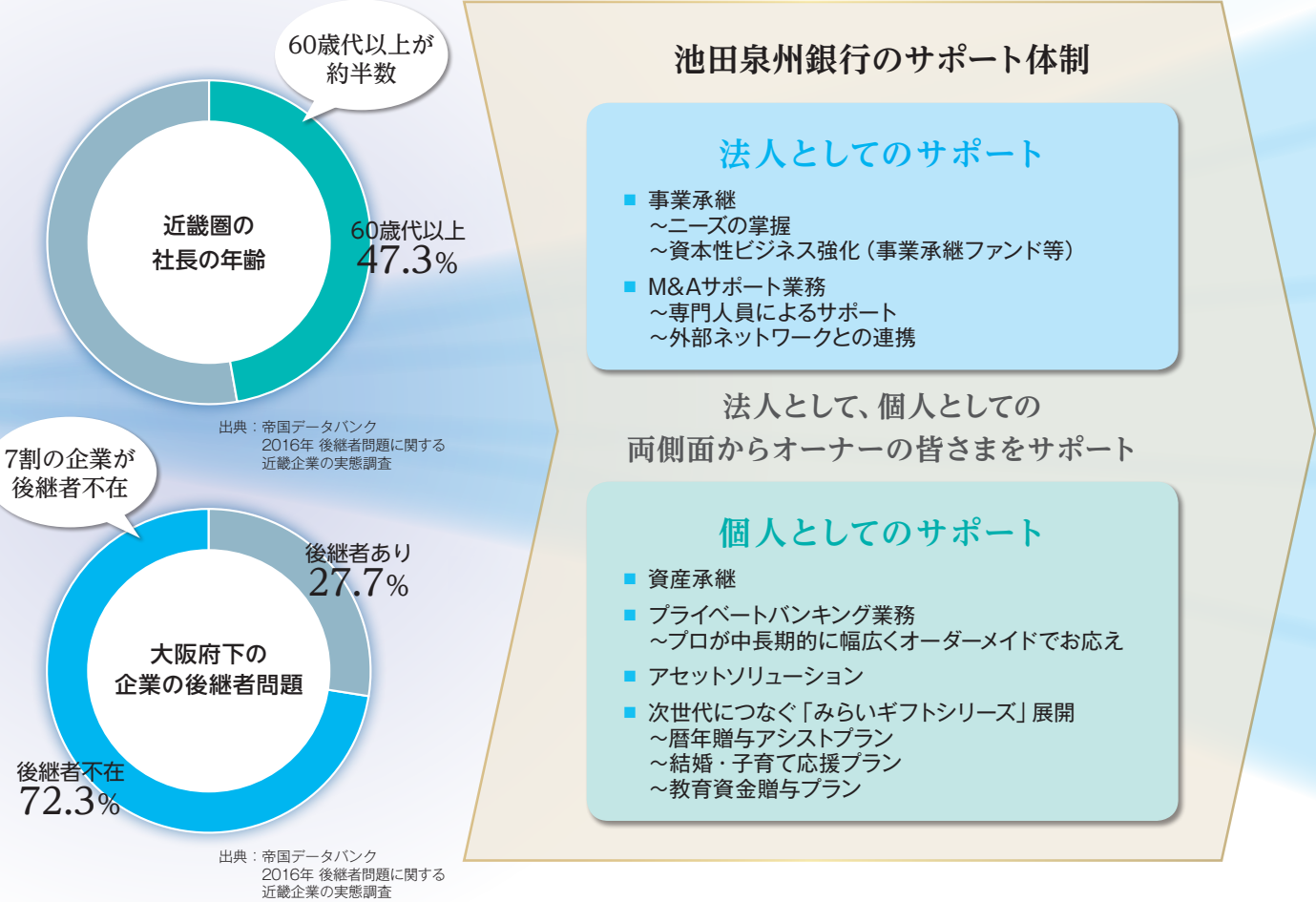
- ・従業員取引のご提案（給与振込、住宅ローン他）
- ・オーナーさまへの資産運用ご提案（池田泉州TT証券等）

■ A社との取引の実績



世代を繋ぐビジネスの深化

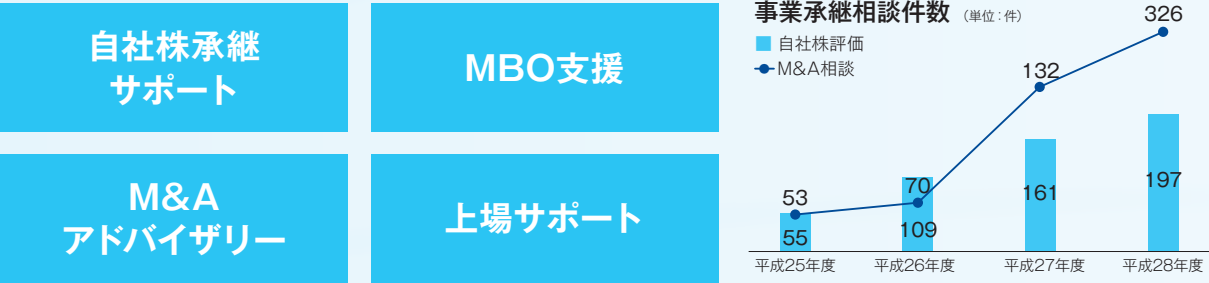
当社グループでは、地域の皆さまとともに、地域の課題解決に取り組んでおります。
少子高齢化、人口減少等を踏まえ、『世代を繋ぐビジネス』を展開し、事業承継や資産承継に関わる全てのニーズに幅広く対応しております。



事業承継

専門人員が、幅広い専門家ネットワークを駆使して
中小企業オーナーの皆さまの事業承継に関する悩み
ごとを解決します。

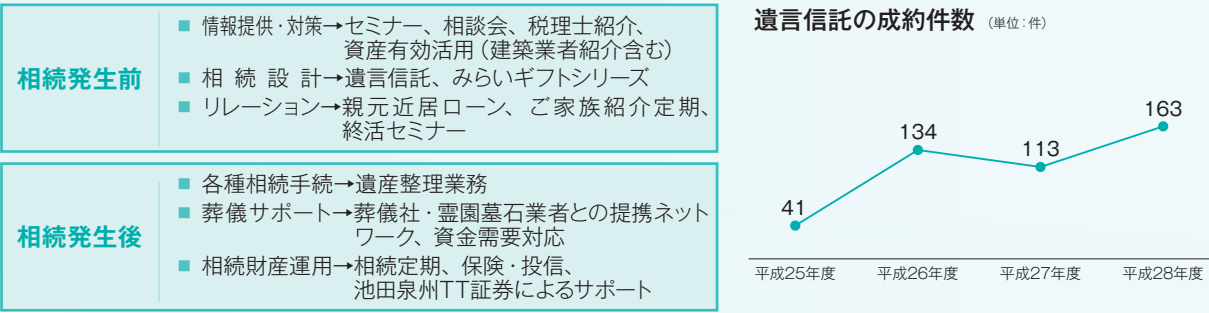
フィナンシャルアドバイザー部
M&Aアドバイザー室長
峰田 伴喜



資産承継

相続アドバイザー（営業店429名）、高度な相続・資産
承継のできる人材（プライベートバンキング室10名）が、
お客さまのお困りごとに一通貫で対応します。

フィナンシャルアドバイザー部
プライベートバンキング室長
木村 公寿

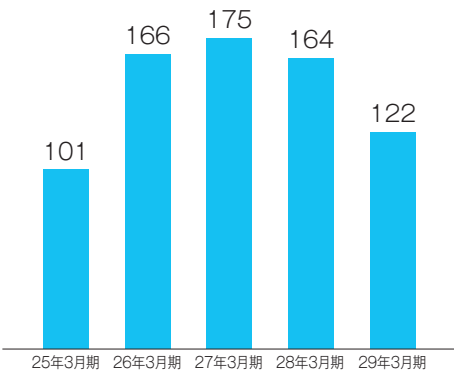


平成28年度の業績

業績ハイライト

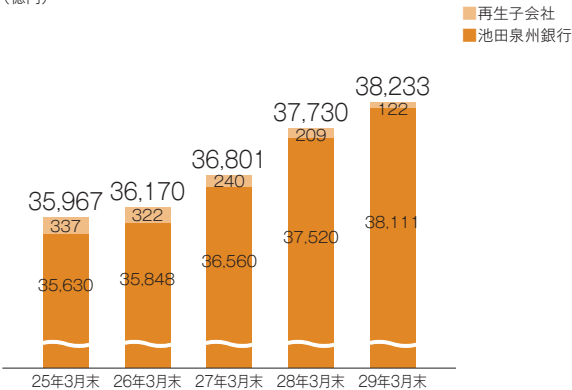
親会社株主に帰属する
当期純利益 (持株会社連結)

122億円 (前年同期比
-42億円)



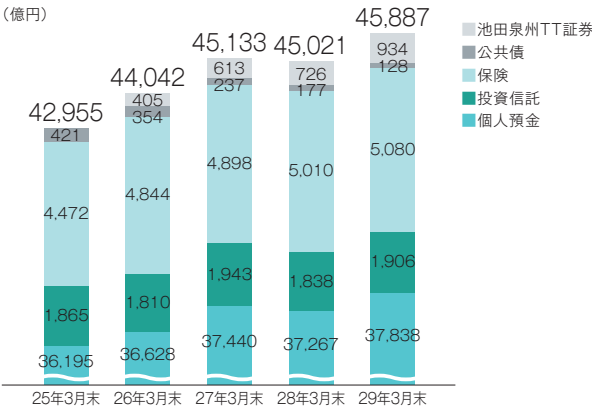
貸出金残高 (銀行単体+再生子会社)

3兆8,233億円 (前年同期比
+503億円)



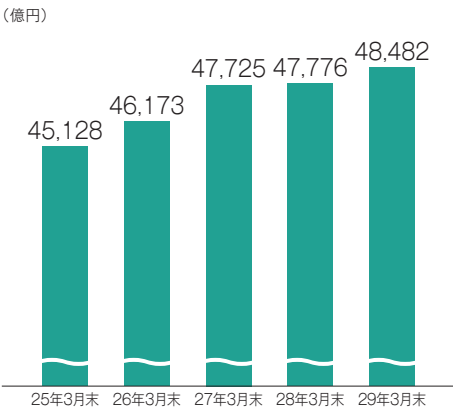
個人総預り資産残高 (銀行単体+証券子会社)

4兆5,887億円 (前年同期比
+866億円)



預金残高 (銀行単体)

4兆8,482億円 (前年同期比
+706億円)



会社概要

Profile

■ 池田泉州ホールディングス

設立日 平成21年10月1日
本社所在地 大阪府大阪市北区
茶屋町18番14号
資本金 1,029億円
従業員数 116名
上場取引所 東京証券取引所

■ 池田泉州銀行

設立日 昭和26年9月1日
本社所在地 大阪府大阪市北区
茶屋町18番14号
資本金 613億円
預金 4兆8,482億円
貸出金 3兆8,111億円
店舗数 141カ店
従業員数 2,471名
格付 格付投資情報センター (R&I) A-
日本格付研究所 (JCR) A-

■ 池田泉州TT証券

設立日 平成25年1月30日
本社所在地 大阪府大阪市北区
茶屋町18番14号
資本金 12億5,000万円
預り資産残高 1,058億円
店舗数 4カ店
従業員数 95名

(平成29年3月末日現在)

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
公告掲載方法	電子公告により行います。 ■ 公告掲載URL http://www.senshuikeda-hd.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由により 電子公告を行うことができない場合は、産業 経済新聞に掲載して行います。)
単元株式数	100株

株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777
上場証券取引所	東京証券取引所

各種お手続きについて、詳しくは三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご照会ください。
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

配当金の受け取り口座 (ゆうちょ銀行) 追加のご案内

当社は従来からの配当金のお受取方法に加え、ゆうちょ銀行の貯金口座への振込みが可能となりました。詳細については、証券会社の口座に株式を保有されている株主さまは株主さまの口座のある証券会社に、特別口座に株式を保有されている株主さまは上記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部にご連絡ください。

株主の皆さまへ

池田泉州ホールディングスは、株主の皆さまとの対話の充実を、重要な経営課題と位置づけております。株主の皆さまに、当社の業績や日頃の活動、株主還元方針などをご説明し、当社へのご理解を深めていただくとともに、皆さまからのご意見を経営に生かしてまいります。

株主懇談会

当社では、株主の皆さまとの対話の場として、株主懇談会を開催しております。昨年12月に開催した株主懇談会では、近況のご報告・外部講師による講演に加え、株主の皆さまと社長以下役員との懇談会を行いました。



株主懇談会参加者の声



このような株主と経営陣が触れ合える場は大事。このような取組みは地銀ならではの“よいもの”だと感心している。セミナーもタイムリーな話題で非常によかった。



ご参加いただきました皆さまから、このようなお言葉をいただき、非常にありがとうございます。より多くの株主の皆さまのお声が聞けるように、開催方法等につきましては、鋭意見直ししてまいります。



合併により、鉄道沿線に近い店舗が増えて便利になった。営業エリア内で他行がオープンしているが今後の池田泉州銀行のエリア展開はどうか？



貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。池田泉州銀行では「第3次中期経営計画（～H31/3期）」において、営業エリア内に10カ店程度の新規出店を計画しております。今後とも皆さまの利便性向上に資する取組みを進めてまいりますので、引き続き、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。



個人投資家向け会社説明会

経営戦略や業績などをわかりやすくご説明し、地元の投資家の皆さまに当社のことをよく知っていただき、ファンになっていただくことを目的に、様々な形で個人投資家向け会社説明会を開催しております。



株主優待制度のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えすべく、株主優待制度をご用意しております。地元関西のお役に立ちたいとの想いを込めて、関西各地で愛されてきた自慢の食材や、長い伝統を誇る地場の名品などを多数取り揃えました。カタログギフトの中からお選びいただけます。

とっておきの地域特産品等をラインナップ！



保有株数	保有期間	優待内容			
10,000株以上	3年以上 ^(※)	株主優待カタログ（地域特産品等）	10,000円相当	いづれかを選択	株主優待定期預金
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	5,000円相当		
6,000株以上 10,000株未満	3年以上 ^(※)	株主優待カタログ（地域特産品等）	5,000円相当	いづれかを選択	株主優待定期預金
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	3,000円相当		
2,000株以上 6,000株未満	3年以上 ^(※)	株主優待カタログ（地域特産品等）	3,000円相当	いづれかを選択	株主優待定期預金
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	2,000円相当		
200株以上 2,000株未満	—	株主優待定期預金			

※3年以上継続保有の確認は、直近の3月31日を基準として遡り、毎年3月31日及び9月30日の当社の株主名簿に同一株主番号で連続して7回記載または記録されていることをもって判定いたします。
(上記は平成29年3月実績)

IRカレンダー

今後もタイムリーに決算内容などの財務情報をホームページなどでお知らせいたします。





池田泉州銀行の新CM、ウェブで公開中!

当社グループでは、昨年テレビCMを一新しました。
池田泉州銀行のホームページにて公開しておりますので、
是非ご覧ください。

未来をつくる

未来へつなぐ

「共に、挑む」篇



CMストーリー

介護ロボットの開発に挑戦する中小企業の社長が
ゴール(＝新商品完成)に向かって歩む姿、その
傍らに常に寄り添いサポートする行員の姿を描いた
ハートフルな内容。最後の新商品発表会で、頑張っ
てきた社長と行員が固く握手。

「親元近居」篇



CMストーリー

若い姉妹を主役として親元近居の生活を描いた
ほのぼのとした内容。祖父母宅でくつろぐ姉妹、
そこに母親がお迎えに来るというストーリー。



池田泉州銀行のホームページでチェック!

<http://www.sihd-bk.jp/company/cm.html>

スマホの方はこちらから ▶

